

# 平成22年度 第11回運営会議ニュース

日	時	平成23年3月13日(日) 10:00~12:00(カエルの卵塊調査)、13:30~16:00(会議)
場	所	県立座間谷戸山公園 パークセンター レクチャールーム
出	席	者 19名
<p>議題</p> <p><b>23年度の南谷戸田の管理(案)について</b> (谷戸田の会：仮称)</p> <p>まず、“ぼらぼら”が中心となり21年度から2年間行ってきた「南谷戸田プロジェクト」のまとめの報告があった。以下、報告内容の概略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パックテストの調査結果を見ると、谷戸田を通過することで、水質の富栄養化を防ぐ効果があった。ただし、生育した水生植物は刈り取って持ち出す必要がある。</li> <li>・造成当初に比べて堆積量が増えて乾燥化してきており、ガマなどの植物が一部減少した。</li> <li>・ヨシやガマなどの繁茂を防ぐためには、抜取りが効果的。</li> </ul> <p>次に、22年度から畦の草刈りを中心に行ってきた谷戸田の会(仮称)から23年度の活動提案があり、承認された。以下、今後の作業内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方向性としては、休耕田の風景を復元する活動。作業は4月より月3回の予定。 第1月曜日・第4金曜日=9:30~12:00、第2土曜日=9:30~15:00</li> <li>・上・中・下段の田面と畦の草刈りと水漏れ防止のための畦塗り、上段の田起こし・代かき など</li> <li>・現在カエルのおたまじゃくしがいるので、4月は畦の草刈りを行い、5月から田んぼ内の作業を行うこととする。</li> </ul> <p>(その他、メンバーからの要望など) 野鳥の水浴び場として水面が必要であるので、上段は草を抜き取りし、ヨシの繁茂を防ぐべき。南谷戸奥のカサスゲは保護すべき。</p> <p>その他報告事項など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>厚木土木事務所東部センター</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園路の舗装工事については、4月の中旬に行う予定。</li> <li>・水鳥の池等の水質調査速報値について、環境省の定める基準は「日常生活において不快でないレベル」という位置付けになり、どの値もおおむね基準値はクリアしている。南谷戸についても同様。</li> </ul> </li> <li>○<b>(株)横浜コンサルティングセンター</b> 今までの会議で出た意見をもとに、今後設置するサインの材質や表示方法などについて提案があった。次回以降、具体案をもとに検討していく。</li> <li>○<b>写楽会</b> 野鳥確認情報など：イカルは15~20羽が北西6周辺で見られる。ガビチョウほか</li> <li>○<b>公園協会本部</b> 公益法人制度改革関連三法が施行されたことにより、より公益性の高い事業の実施を目指すため、23年度から「公益財団法人」へ移行することとなった。</li> <li>○<b>公園事務所</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物性廃棄物の処分は、県立都市公園管理マニュアルに基づいて行っていることを説明した。この説明に対してメンバーより木材はチップ化を検討して欲しい、カントリーヘッジはこれ以上増やさないで欲しい等の意見があった。</li> <li>・鉄塔脇の樹林地の整備作業が終了した。再利用できる木材は製材して公園管理で使用するが、丸太などは欲しい方に提供したり、イベントでほだ木に利用したりする。また、ビオトープ研修グループにより、整備地の調査結果が今後報告がされる予定。</li> <li>・池の浚渫や手すり工事などの実施報告</li> <li>・23年度の年間イベント予定表を確認した。</li> <li>・23年度第1回目のやとやま講座で4/9に行う「シイタケ作り体験」の説明。</li> </ul> </li> </ul>		
次	回	4月13日(日) 13:30~16:00の会議を予定している。